

まちの地域資源の紹介

厚沢部町

あっさぶちょう



- ◎面積 / 460.58平方キロメートル
- ◎人口&世帯数 / 3,992人・1,967世帯 (2017年12月時点)
- ◎アクセス / 函館空港から車で1時間
北海道新幹線新函館北斗駅から車で40分

じゃがいもの女王メークイン発祥の地

北海道新幹線の始発駅・新函館北斗駅に隣接する厚沢部町。約8割を森林が占め、山麓から湧出される豊かな湧き水が全家庭の水道水を賄い、肥沃な大地で育ったメークインやグリーンアスパラなどの豊富な農作物で食卓が賑わいます。冬でも温暖な気候の厚沢部町で心和やかに暮らしませんか。



▲メークインの花



▲焼酎喜多里

(1) 世界一素敵な過疎のまちを目指して

「都会にある便利な物はないが都会ではできない暮らしがある」。当町も他の過疎地同様少子高齢化は進んでいますが、過疎を悲観せず過疎地だからできる体験や暮らし、魅力ある住みよい町を目指して取り組んでいます。

(2) 良質で多種多様な農作物と加工品を生産

メークインの発祥の地として知られている当町の基幹産業は農業。近年、冷涼な地域での生産は困難とされていた『さつまいも』の栽培にも成功。厚沢部の湧水を利用した焼酎喜多里や干し芋など加工品の生産も盛んです。

(3) 中心部から車で3分。森林浴や温泉でWの癒し

トマツの自生南限とヒノキアスナロ(ヒバ)の自生北限という貴重な植生の『レクの森』では身近かつ気軽に森林浴が楽しめます。散策後には地元産木材の香り溢れる上里温泉で寛げば、心と身体の活力が満たされます。

まちの地域資源の活用方法例



上里移住体験住宅

集会施設を改修し、田舎で暮らしながら仕事ができる体験住宅がオープンしました。1階が居住スペース、2階はテレワークなどのオフィスとして使用可能です。町の中心地から2kmと立地も良く快適な環境です。



生涯活躍のまち構想拠点施設

移住促進、二地域居住の拠点として新築の移住体験住宅4戸が平成30年4月オープンします。温泉施設が隣接する快適な環境で長期滞在が可能です。(写真はイメージです)



道の駅あっさぶ

国道沿いにあり、特徴的な外観が目印。新鮮な野菜や加工品などが並ぶ物産センターを核とし、特産品やイートインの売上は年々上昇しています。「道の駅公園」を併設しており、休憩スポットとなっています。



鶉ダムオートキャンプ場

北海道南西部檜山の入口に位置し、「ハチャムの森」の愛称で呼ばれています。自然豊かな環境でキャンプは勿論、イベントの開催も可能です。